

ふくい街角景気速報

(令和3年7月分)

調査期間 令和3年7月10日～24日 (回答率: 90%)

概況

景気の現状判断DIは50.3となり、前月と比べ7.0ポイント上昇した。

景気の先行き判断DIは53.9となり、前月と比べ0.8ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 50.3 (前月比 +7.0)

○家計動向関連では、前月に比べ 6.3 ポイント上昇した。

○企業動向関連では、前月に比べ 7.8 ポイント上昇した。

○雇用関連では、前月に比べ 6.8 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

○コロナ禍の状況で、引き続き利用が増えている。(スーパー)

○昨年末より戻り基調の早い車輦内装材やアウトドア衣料は引き続き堅調だが、その他用途の戻りは鈍く、横ばい。(繊維関連)

■景気の先行き判断DI 53.9 (前月比 ▲0.8)

○家計動向関連では、前月に比べ 3.9 ポイント低下した。

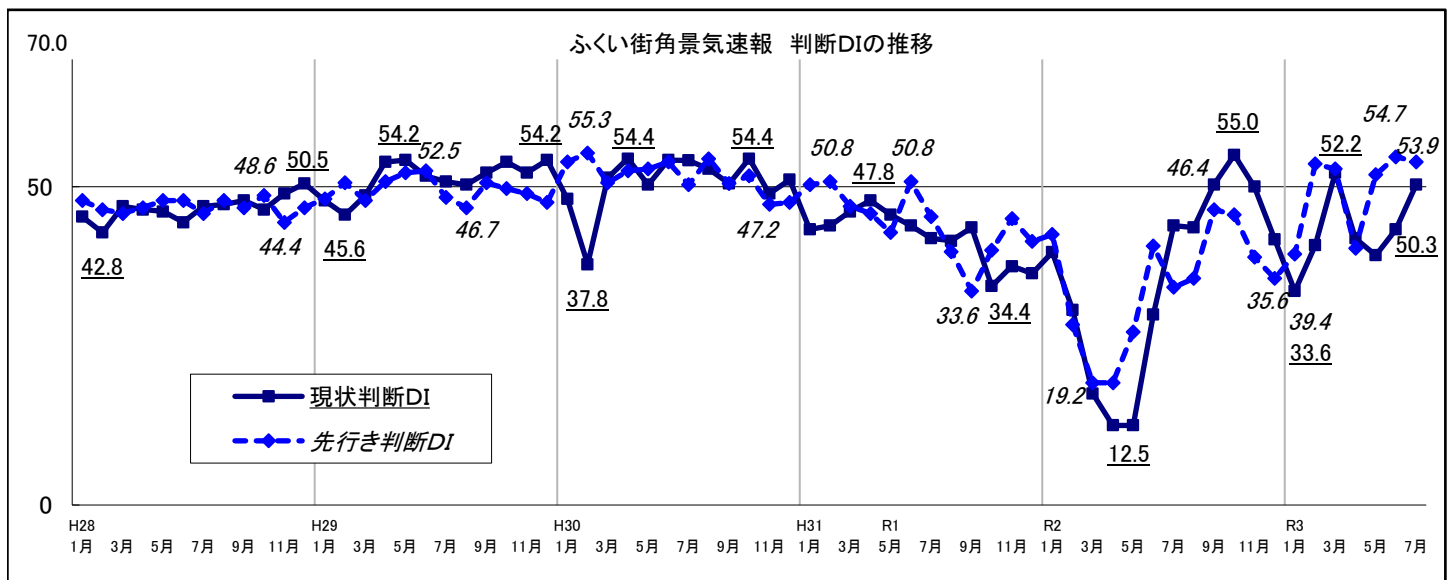
○企業動向関連では、前月に比べ 2.4 ポイント上昇した。

○雇用関連では、前月に比べ 2.3 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

○コロナワクチンの接種拡大により企業の生産活動がより一層上向きになってくると思われ、それにつれて企業間物流も活発になってくると思う。(運輸関連)

○ワクチン接種状況と感染者数の増減次第だと思ふ。人々の行動はそんなに極端に変わらず自粛ムードの方が依然多い。(一般小売店)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R3 2	3	4	5	6	7	(前月差)
合計		40.8	52.2	41.9	39.2	43.3	50.3	+7.0
家計動向関連		31.7	51.1	37.0	34.0	39.8	46.1	+6.3
小売		34.7	52.5	40.8	33.6	37.5	43.1	+5.6
飲食		41.7	50.0	30.0	15.0	43.8	50.0	+6.2
サービス		20.5	47.7	29.5	45.0	45.0	52.1	+7.1
企業動向関連		48.5	52.3	46.2	41.4	42.9	50.7	+7.8
製造業		44.8	48.9	46.0	41.3	47.0	54.0	+7.0
非製造業		57.5	60.0	46.9	41.7	32.5	41.7	+9.2
雇用関連		54.5	56.3	50.0	54.5	59.1	65.9	+6.8

○回答別構成比

	年 月	R3 2	3	4	5	6	7	(前月差)
良くなっている		6.7%	3.3%	2.2%	1.1%	1.1%	3.3%	+2.2
やや良くなっている		11.1%	28.9%	16.7%	13.3%	12.2%	20.0%	+7.8
変わらない		40.0%	46.7%	40.0%	42.2%	51.1%	53.3%	+2.2
やや悪くなっている		23.3%	15.6%	28.9%	27.8%	30.0%	21.1%	▲8.9
悪くなっている		18.9%	5.6%	12.2%	15.6%	5.6%	2.2%	▲3.4

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R3 2	3	4	5	6	7	(前月差)
合計		53.6	52.8	40.3	51.9	54.7	53.9	▲0.8
家計動向関連		53.9	53.9	34.2	49.5	52.8	48.9	▲3.9
小売		47.6	48.3	36.7	46.1	49.2	44.0	▲5.2
飲食		66.7	62.5	40.0	45.0	62.5	62.5	+0.0
サービス		68.2	65.9	25.0	62.5	60.0	56.3	▲3.7
企業動向関連		52.9	52.3	46.2	50.8	55.7	58.1	+2.4
製造業		55.2	54.3	49.0	51.1	57.0	58.0	+1.0
非製造業		47.5	47.5	37.5	50.0	52.5	58.3	+5.8
雇用関連		54.5	50.0	47.7	65.9	59.1	61.4	+2.3

○回答別構成比

	年 月	R3 2	3	4	5	6	7	(前月差)
良くなる		2.2%	3.3%	1.1%	6.7%	4.4%	5.6%	+1.2
やや良くなる		34.4%	28.9%	15.6%	22.2%	33.3%	28.9%	▲4.4
変わらない		44.4%	47.8%	38.9%	48.9%	43.3%	44.4%	+1.1
やや悪くなる		13.3%	15.6%	32.2%	16.7%	14.4%	17.8%	+3.4
悪くなる		5.6%	4.4%	12.2%	5.6%	4.4%	3.3%	▲1.1

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	企業 動向	福井	一般機械関連	建設機械業界は、2020年9月以降の受注は回復し、11月以降は対前年2割増まで回復し、その後継続している。
②やや良くなっている	家計 動向	福井	スーパー	コロナ禍の状況で、引き続き利用が増えている。
		福井	コンビニエンスストア	前年には無い4連休があり、予想外の盛況があった。
		坂井	観光関係	梅雨明けが例年より早く、天候が安定し、気温も高くなってきていることやコロナワクチン接種が徐々に進んできているため。
	企業 動向	福井	運輸関連	売上高(荷動き)が少しずつではあるが回復基調にある。
	雇用	福井	ジョブカフェ担当者	事業所からの求人数や有効求人倍率が若干増加しているため、景気は回復傾向にあると考えられる。また、巣ごもり需要もあり、製造業、運輸業(貨物)など多くの業種において受注が増加したと聞いている。
		福井	就職情報誌	助成金等を活用した広告が増えている。
③変わらない	家計 動向	嶺南	百貨店、SC等	コロナ禍でお出掛け需要も伸び悩んでいる。
		福井	家電販売店	コロナの影響で前年に売上げが伸びた分が、今年に入って落ち込んでいる。
		福井	観光関係	コロナウイルス感染状況が悪化している中で、春先から比べると人の流れは少しずつ上向きであったが、中旬ごろから少し停滞気味である。
	企業 動向	奥越	繊維関連	昨年末より戻り基調の早い車輦内装材やアウトドア衣料は引き続き堅調だが、その他用途の戻りは鈍く、横ばい。
		坂井	一般機械関連	新たな投資に対して消極的になっている企業が多い。
		福井	化学・プラスチック関連	新型コロナ感染および自動車業界の半導体不足の影響が継続しており、今一歩回復に力強さが欠ける状況が続いている。
		嶺南	食料品製造関連	コロナ禍の状況に変わりなく、消費状況の変化がない。
	雇用	丹南	労働相談員	コロナ禍による勤務時間短縮の相談はあったが、景気そのものは変化がないと感じている。
		嶺南	ジョブカフェ担当者	嶺南地域の有効求人倍率は若干増加に転じたようにみえるが、求職者減の要素が大きく、求人が著しく増えている状況ではない。観光客の回復の様子もあるが、飲食・宿泊店は依然として厳しい状況が続いている。
④やや悪くなっている	家計 動向	福井	一般小売店	「ウッドショック」の影響が、住宅建築に大きく悪影響を及ぼし、木材の原材料高、工期の遅れで、住関連需要低下を招いている。
		福井	百貨店、SC等	全国的なコロナ蔓延により、市況としては厳しい状況。しかしながら、希少性の高い美術品などは堅調に推移している。
		福井	サービス業関連	新型コロナ感染症が再拡大したせいか、お客様の出足は鈍く、受注売り上げともに悪くなっている。
	企業 動向	福井	商社	販売数量的には車の燃料油は前年より少し良くなっているが、温泉地などでの重油などの使用量は相変わらず厳しい。それよりも原油価格が高騰しており、価格の転嫁が遅れており景気としては厳しいままである。
		福井	化学・プラスチック関連	県緊急事態宣言の発出を受け、会食の制限やイベント開催の見送りなどが発生し、個人消費への影響も懸念される状況。
		福井	銀行等金融関連	福井市中心部の飲食店にて、コロナ感染が拡大した影響で休業や営業時間短縮を余儀なくされた店舗は売上が激減。
		丹南	建設・不動産関連	ウッドショックによる原価高騰の影響がある。
⑤悪くなっている	家計 動向	嶺南	商店街	消費の落ち込みは依然として回復基調ではなく、先月同様にただ我慢をしているだけの日々が続いている。
	企業 動向	福井	建設・不動産関連	3ヶ月前は繁忙期の後半だったが、現在は閑散期にあたり売上は悪い時期になる。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなる	家計動向	嶺南	観光関係	ワクチン次第。接種が進んで、状況は良くなっていると思う。
	企業動向	丹南	電気機械関連	コロナ禍により買い控えの反動がくと予想している。
	雇用	福井	就職情報誌	ワクチン接種が進み、会食も増えると広告出稿・求人広告も増えるのではないかと予想する。
②やや良くなる	家計動向	嶺南	商店街	7月31日「夜の市」8月1日「マリニピア花火大会」9月「放生祭」など大きなイベントが中止となり、それに伴う売り上げが見込めない。ただ、ワクチン接種が進んでいるので、少しは良くなると思われる。
		嶺南	飲食関連	夏休みで客数が増えるため。
		福井	観光関係	ワクチン接種(2回目)が終了し、旅行需要が戻る見込みである。
	企業動向	福井	一般機械関連	年内の生産計画に対する受注状況は8割くらいとなっている。
		福井	化学・プラスチック関連	北陸新幹線開業に向けた経済特需を背景に、建材・機械など製造業が活性化し、卸売業も運送業や倉庫業などと連動して盛んになっていくことで、経済全体が少しずつ盛り上がっていくと考えられる。
		嶺南	その他製造関連	6、7月に発注になった工事が動き出すのでコンクリート製品の出荷が見込めるから。
		福井	建設・不動産関連	3ヶ月後は秋の移動シーズンにあたり、売上は現在より上向く予想。
		福井	運輸関連	コロナワクチンの接種拡大により企業の生産活動がより一層上向きになってくると思われ、それにつれて企業間物流も活発になってくると思う。
雇用	福井	学校就職担当者	企業の方と話していて経常利益が上向くなど明るい話が多くなった。	
③変わらない	家計動向	嶺南	一般小売店	コロナウイルスのワクチン接種状況と感染者数の増減次第だと思う。人々の行動はそんなに極端に変わらず自粛ムードの方が依然多いと思う。
		奥越	百貨店、SC等	ふく割が終わった後は、売上が下がるのが目に見えている。ワクチン接種が進む状況に期待する一方、地元で買い物する傾向が減り、市外へ出たの買い物が多くなることが予想され、店によっては更に厳しい状況も考えられる。
		坂井	観光関係	現時点での予約状況では回復する傾向にはない。
	企業動向	奥越	電気機械関連	向こう3ヶ月の受注の入りが良い。
		丹南	建設・不動産関連	値上げ交渉するも、原価高騰のペースが速く、利益改善がなかなか厳しい状況が続くと思われる。
	雇用	嶺南	ジョブカフェ担当者	今後、ワクチン接種が進めば、人の動きが出て、観光・飲食業界は回復するとの期待感がある。一方で、半導体不足やウッドショックなどにおいては、先行きが見えず不安感があるとの関係者の声も聞かれる。
④やや悪くなる	家計動向	福井	スーパー	コロナワクチン接種も浸透し、コロナが落ち着くと外食に回っていくと思われる。
		嶺南	飲食関連	夏休みが始まり、来月はお盆で帰省する人も増えて一瞬回復するが、再びコロナ感染者数が増えて経済が止まると思う。
		福井	観光関係	夏休み、オリンピック合宿、インターハイが終了後の秋の入り込みを懸念している。昨年は「Goto-」や「福井県民割り」等があり一時的ではあるがダブル、トリプル割りなどがあり需要が活気づいた。
	企業動向	丹南	繊維関連	国内景気は自粛疲れによる消費回復とオリパラ後の感染拡大懸念及び支持率低下による政治の不安定化とのバランス次第。油関連の値上げなどコストアップ要因が多くあり、先行き不透明。
		坂井	一般機械関連	設備投資を控えている製造業が多く感じるため。
	雇用	嶺南	労働相談員	夏休み・盆休みが始まり、人流が増加傾向になるため、コロナの感染拡大につながる。このままでいけば、福井県独自の緊急事態宣言の発令になり、GoToイートやGoToトラベルなども止まってしまうと思う。
⑤悪くなる	家計動向	福井	百貨店、SC等	感染者が今後も増加し続けると想定される。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)